



サイ砂防だより

令和3年度 第4号(令和4年1月発行)



サー坊

(犀川砂防事務所マスコットキャラクター)

土砂災害から尊い人命、財産を守るための砂防堰堤が完成しました

事業名:国補通常砂防(事業間連携)事業

箇所名:知見寺沢 松本市 知見寺



松本市知見寺沢は中流域に不安定な土砂が堆積しており、上流にはガレ場が存在しています。下流には人家53戸、避難所、公民館等があり、避難経路も土砂災害計画区域内に含まれているため、砂防堰堤2基及び溪流保全工を計画し、昨年12月に上流側の2号砂防堰堤が完成しました。

【工事概要】 1号砂防堰堤(不透過型)

H=7.0m L=104.0m

2号砂防堰堤(透過型) 【完成】

H=8.5m L=94.0m

溪流保全工 L=130m

【事業年度】 H26～R7

令和2年7月豪雨による地すべり災害の復旧工事が進んでいます

事業名:防災・安全交付金(地すべり対策)事業

箇所名:東筑摩郡生坂村 袖山



村道崩落状況(令和2年当時)

令和2年7月豪雨により地すべり活動が活発化し、村道の崩落や法面に変状が発生しました。これまでに横ボーリング工と水路工の施工により、地下水を排除したことから、安定化が図られ、昨年11月には村道も復旧しました。今後は、引き続き上部の地下水排除工事を行うとともに、隣接する地すべりブロックの調査を行い、全体の安定化を図ってまいります。



土留工による村道復旧



水路工による地下水排除



横ボーリング工による地下水排除

地すべり対策工事を行い、村道の通行止めを解除しました

事業名：防災・安全交付金(地すべり対策)事業

箇所名：東筑摩郡生坂村 大倉

平成28年、29年の台風及び豪雨により、地すべり活動が活発化し、村道の崩落や水路等の既設地すべり施設の損壊が発生しました。地下水を排除するための横ボーリング工、水路工や根固ブロックによる押え盛土等の施工により、斜面の安定化が図られ、長い期間通行止めだった村道が昨年12月から通行可能となりました。今後は残りの工事を進めるとともに、地下水位や地表面の変状等を観測し、令和5年度の事業完了を目指します。



村道崩落状況(平成29年当時)



水路損壊状況(平成29年当時)



横ボーリング工による地下水排除



カゴ枠工によるのり面安定化



根固ブロックによる押え盛土

県職員を対象とした地すべり研修会を開催しました



室内研修(やまなみ荘(生坂村))

近年、土砂災害が頻発する中、砂防事業の重要性が再認識されています。そこで県では、砂防や地すべり等に関する知識を多くの職員に学んでもらうため、12月10日に研修会を開催しました。

当日は、国土防災技術(株)長野支店の山田様、北陽建設(株)の廣瀬様、平林建設(株)の伊藤様が講師となり、座学と袖山地すべりの現地研修、見学を行いました。皆さん、メモをとったり質問したりと、真剣に取り組んでいました。



山田講師による現地研修



廣瀬講師による現地踏査演習



伊藤講師による工事現場説明